



各 位

2023年11月28日

会 社 名 人・夢・技術グループ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 永 冶 泰 司
 (コード番号 9248 東証プライム)
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 塩 釜 浩 之
 経営企画担当 (TEL03-3639-3317)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、本日開催の取締役会において、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るために、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応方針を下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

当社グループは、PBR1倍割れの解消に向けて、「長期経営ビジョン2030」及び中期経営計画「持続成長プラン2025」を着実に実行し、下記のように対応してまいります。

■ PBRの改善に向けた方針と目標設定

		中期経営計画「持続成長プラン2025」(最終年度：2025年9月期)	「長期経営ビジョン2030」(最終年度：2031年9月期)
① 利益創出	基本的な方針	「成長基盤確立に向けた集中的な投資」と「株主還元強化」の両立	「持続的な成長」を通じた「株主還元」のさらなる拡大
	連結売上高	478億円	600億円
	連結営業利益	32億円	50億円
	ROE	中長期的にROE10%程度またはそれ以上の水準を安定的に実現する	
② 株主還元強化	① 2031年9月期までの間、1株当たり配当額60円と、配当性向35%に基づく配当額の高い方を目安として安定的に配当 ② 機動的な自社株買い		
③ IR/SR強化	① 当社グループ事業への理解促進、②サステナビリティ経営のPR		

■ PBRの改善に向けた取り組み

- ① 利益創出
成長基盤確立に向けた集中的な投資を実施しながら、中長期的にROE10%程度またはそれ以上を安定的に実現する
- ② 株主還元強化
「成長基盤確立に向けた集中的な投資」と「株主還元強化」を両立
- ③ IR/SR強化
IR/SR活動による当社グループ事業への理解促進を通じて、当社グループに対する成長期待を醸成

以上



証券コード 9248

人・夢・技術グループ株式会社

PBR向上に向けた 当社グループ方針と取り組み

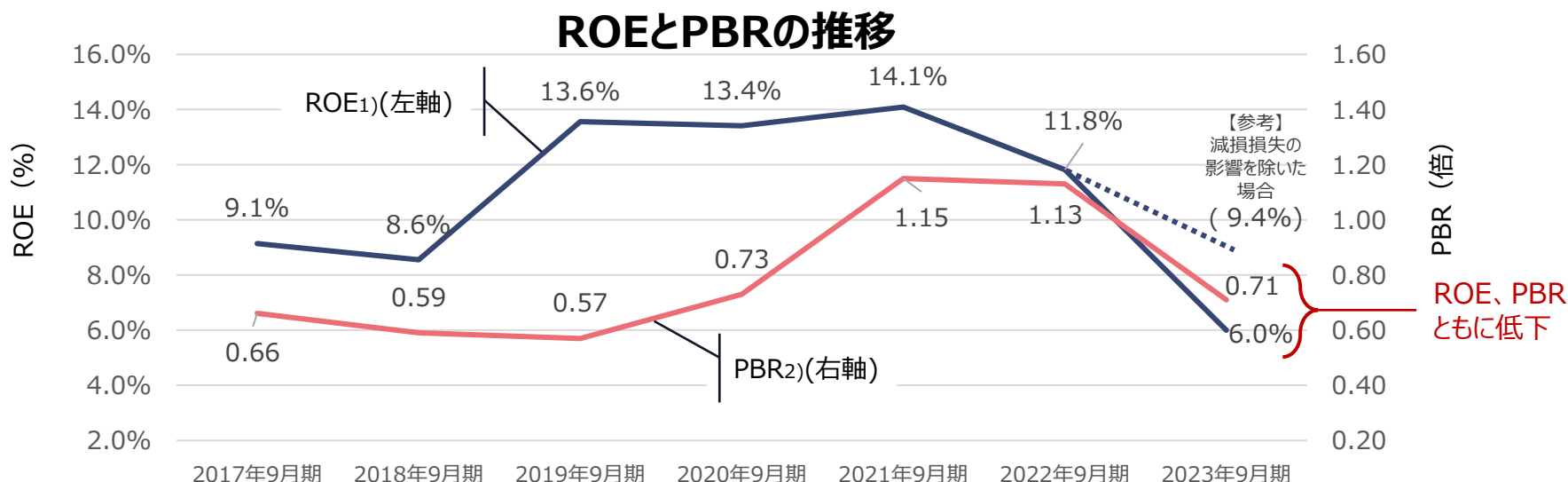
2023年11月28日(火)

人・夢・技術グループ株式会社

1. 現状分析

■ ROEとPBRの推移

- 当社グループのROE（自己資本利益率）は2019年以降10%を上回っていたものの、2023年は6.0%に低下（当期の減損損失の影響を除いたROEは9.4%）
- PBRはROEの増加とともに上昇し、2021年及び2022年は1.0倍を上回ったが2023年は0.71倍に低下



- 1) ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 期中平均の自己資本合計額
- 2) PBR = 期末最終営業日の株価 ÷ 1株当たり純資産

ROEの低下等により投資家から将来の成長性が十分に評価されていない

2. 方針と目標

■ PBR改善に向けた方針と目標設定

「長期経営ビジョン2030」及び「持続成長プラン2025」の着実な実行による利益創出、株主還元の強化、また、IR/SRの強化によりPBRの改善を目指す

		中期経営計画「持続成長プラン2025」 (最終年度：2025年9月期)	「長期経営ビジョン2030」 (最終年度：2031年9月期)
① 利益 創 出	基本的な方針	「成長基盤確立に向けた集中的な投資」と「株主還元の強化」の両立	「持続的な成長」を通じた「株主還元のさらなる拡大」
	連結売上高	478億円	600億円
	連結営業利益	32億円	50億円
	ROE	中長期的にROE10%程度またはそれ以上の水準を安定的に実現する	
②株主還元の強化		①2031年9月期までの間、1株当たり配当額60円と、 配当性向35%に基づく配当額の高い方を目安として安定的に配当 ②機動的な自社株買い	
③IR/SRの強化		①当社グループ事業への理解促進、②サステナビリティ経営のPR	

3. PBRの改善に向けた取り組み

取り組み① 利益創出

中期経営計画「持続成長プラン2025」を着実に実行することで、成長基盤確立に向けた集中的な投資を実施し、中長期的にROE10%程度またはそれ以上の水準を安定的に実現する

長期経営計画
「長期経営ビジョン2030」

- 創業100年に向けた持続的成長のためのマイルストーン
- 新しい建設コンサルタント像の実現を通じた持続的な成長
- 売上高600億円、営業利益50億円を目標とする

中期経営計画
「持続成長プラン2025」

- 長期経営ビジョン2030をバックキャストして策定
- 持続的成長ための事業基盤や人材の確保・育成に注力
- 成長基盤確立のため、戦略的事業投資45億円、人的・組織体制強化投資25億円、M&A投資40億円の集中的な投資
- 売上高478億円、営業利益32億円の達成を目標とする

成長基盤確立に向けた集中的な投資を実施しながら、
中長期的にROE10%程度またはそれ以上の水準を安定的に実現する

3. PBRの改善に向けた取り組み

取り組み② 株主還元の強化

- 2023年6月に配当政策の見直しを実施、また、自社株式の取得を機動的に実施することで、「成長基盤確立に向けた集中的な投資」と「株主還元の強化」を両立する
- また、集中的な投資を行う一方で、前期に引き続き今期も70円の配当を予定する

配当政策の強化

- 2023年6月に配当政策を見直し「2031年9月期までの間、1株当たり配当額60円と、配当性向 35%に基づく配当額の高い方を目安として配当することを決定
- ⇒ 2023年9月期の配当は70円（配当性向52.0%）、2024年9月期も同じく70円（配当性向36.8%）を予定

自社株式の取得

- 経営環境、財務状況を勘案し、機動的に実施
- ⇒ 2023年5月～9月に約3億円相当の自社株式を取得

「成長基盤確立に向けた集中的な投資」と「株主還元の強化」を両立

3. PBRの改善に向けた取り組み

取り組み③ IR/SRの強化

- 機関投資家や個人投資家の皆様に、当社グループを知って頂き、当社グループの事業をご理解頂くために、IR/SRに関する様々な取り組みを強化。また、サステナビリティ経営への取り組みをPR

当社グループの認知度の向上や事業への理解

- 2021年よりIR/SRの専門部署を設置。年間20～30件のIR/SR面談を実施
 - 2016年から事業報告書、2020年から中間期の決算説明会を開始し、投資家の皆様への情報提供の機会を拡充
 - 2019年から日経IR・個人投資家フェアへ出展し、個人投資家の皆様への情報提供とコミュニケーションの機会を拡充
- ⇒ 中長期的に、年間のIR/SR面談回数を2倍程度とするなど、これらのIR/SR活動をさらに充実させる

サステナビリティ経営への取り組みをPR

- 健康経営宣言、カーボンニュートラルへの取り組み、専属パラアスリート選手との契約など、サステナビリティ経営への取り組みをPR

IR/SR活動による当社グループ事業への理解促進を通じて、当社グループに対する成長期待を醸成